

大和証券グループが挑む次世代金融サービス  
～共創・ガバナンスが支えるAIエージェント・ブロックチェーン実装

2026年3月4日(水)

株式会社大和証券グループ本社

Daiwa Securities Group Inc.

# 中期経営計画におけるデジタル戦略

最新テクノロジーの全面活用により「お客様の資産価値最大化」を図る

今中期経営計画においては、ビジネスの深化を加速するとともに、AI・ブロックチェーン等や今後実用化を迎える先端テクノロジーを適時ビジネス展開することで デジタル・イノベーションを実現する

## デジタル戦略の骨子

### 富裕層向けビジネスモデルの変革

- お客様の総資産やプロフィールを管理できるサービスの開発
- ポートフォリオ分析提案・モニタリングのデジタル化による最適化
- デジタルアセット等の良質なプロダクトの提供等

### 資産形成層向けビジネスモデルの変革

- AIオペレーターによるお客様満足度向上、事務ストレスゼロ
- グループの商品・サービスをシームレスに提供できるアプリ
- ネットチャネルにおける商品・サービスの拡充等

お客様の  
資産価値  
最大化

### デジタル・イノベーション

- データ活用の高度化、AIを活用したイノベーションの実現（オープンデータエコシステム、AIファクトリー、オルタナティブデータ）
- 業界横断でブロックチェーン技術を活用した業務改革（Web3.0）等

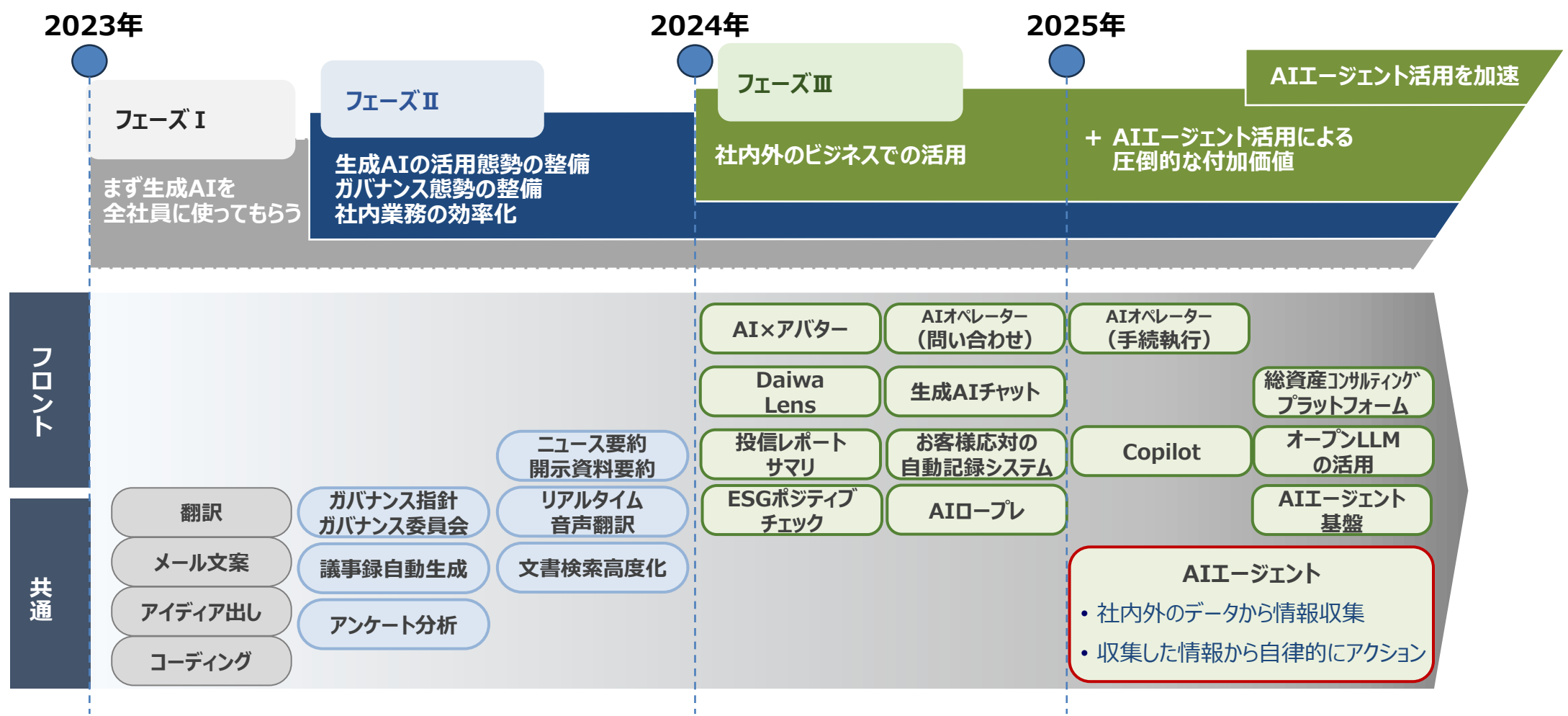
当社のデジタル戦略や取組み事例をホームページに掲載  
URL : <https://www.daiwa-grp.jp/about/digital/>

## デジタル戦略による社会提供価値向上イメージ



# 生成AI・AIIエージェントの取組み全体像

先駆けて社内外のビジネスに生成AIを活用。AIIエージェント元年の2025年は、準備として利用環境整備や外部連携等を進めた  
2026年は、人のパートナーとしてAIIエージェント活用を加速させ、お客様の資産価値最大化に向けたビジネスのスケールに取り組む



# 取組み事例① 生成AIチャット

クイックな応答と高い顧客課題解決率で、お客様のお困りごとをストレスなく解消

2026年3月3日、職域サービスのお客様向けに投資情報等を提供する「DAIWA LIFE PLAN 生成AIチャット」をリリース

「大和証券生成AIチャット」 (2025年6月～)

- ◆ビジュアルで理解しやすいインターフェース
  - ・ 画像や表を用いて直観的な理解が可能に

- ◆高い課題解決率を実現。お客様の疑問にダイレクトに対応

平均解決率 **82%\***

\* 2026年1月の集計による



<https://assistant.daiwa.co.jp/faq>

「DAIWA LIFE PLAN 生成AIチャット」 (2026年3月～)

- ◆職域サービス（従業員持株会など）のお客様からよくいただく質問にお答え
- ◆手続き情報だけでなく、ライフプランや基本的な投資情報についての疑問にお答え
- ◆大和証券生成AIチャットで培った技術力や運営ノウハウを活用



<https://assistant.daiwa.co.jp/workplace>

## 取組み事例② AIオペレーターサービス

大和証券では、2024年10月よりコンタクトセンターにおいて「AIオペレーターサービス」の提供を開始し、順次機能拡充中  
 当社グループにおけるAIエージェント導入の先駆け

2024年  
10月

### AIオペレーターサービス提供開始

- 生成AIを活用した音声による会話形式の応答で、マーケット情報から事務手続きに関する内容まで広範に対応可能
- 国内大手金融機関初の試み

- 2025.3 マーケット情報照会を24時間365日対応に拡張
- 2025.5 提供済みのすべての機能を24時間365日対応に拡張
- 2025.6～ オンライントレードのログイン追加認証必須化に際し、急増したお問い合わせをお待たせせずに対応

2025年  
10月

### 手続きを執行する機能を追加

- 一部手続きの問い合わせ受付・書類発送処理を実装  
住所変更・マイナンバーの届出・NISA口座開設などの手続きに対応可能

- 2026.2～ オンライントレードへのログインにおける安全性向上のため、ご希望のお客様にパスキー認証のご利用を案内する仕組みを導入

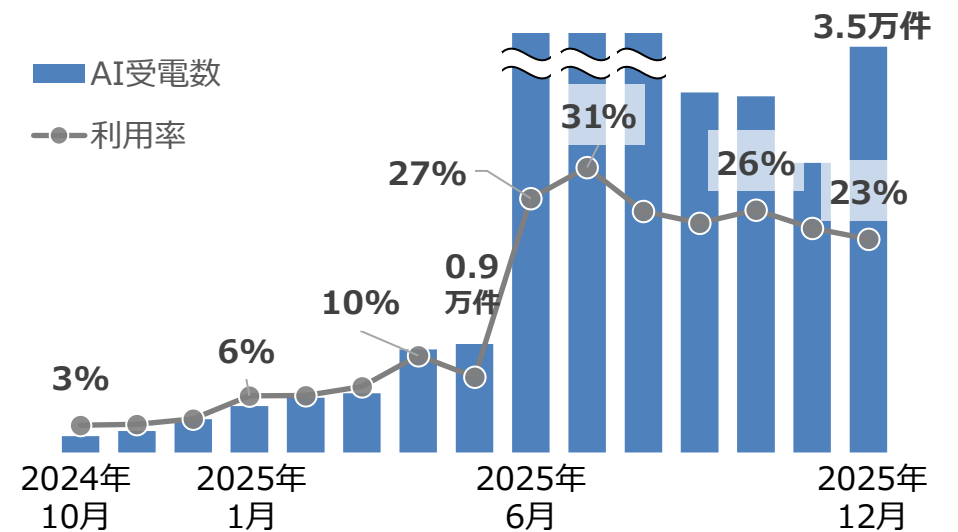
**AIがお答えします!**

株価・マーケット情報や一般的な手続きはぜひAIオペレーターをご利用ください

AI に ゴーゴー!

**0120-81-22-55**

受付時間：24時間（年中無休）  
※お手元に支店コードと口座番号をご用意ください



AIオペレーター受電数・利用率の推移 (2024年10月～2025年12月)

# マイクロソフト社との戦略的枠組み

2025年6月、日本マイクロソフト社との戦略的枠組みを締結

両社の知見・技術の更なる融合を図ることで、社員のAIエージェント活用による能力の最大化とお客様への提供価値の飛躍的向上を狙う

## 日本マイクロソフトと戦略的枠組みに関する契約

大和証券グループ



日本マイクロソフト

1. 次世代ウェルスマネジメント体験の創出
2. テクノロジーを活用した従業員の能力発揮
3. 先進的かつ信頼できるデジタル基盤の構築

AIエージェント活用による、  
顧客提供価値、社員の生産性最大化

## Microsoft 365 Copilotの全社導入

### Microsoft 365 Copilotを導入・展開

- Teamsコミュニティ開設、好事例の発信
- 各部アンバサダー経由の発信
- 各部のベストプラクティスを共有するプラットフォームを提供

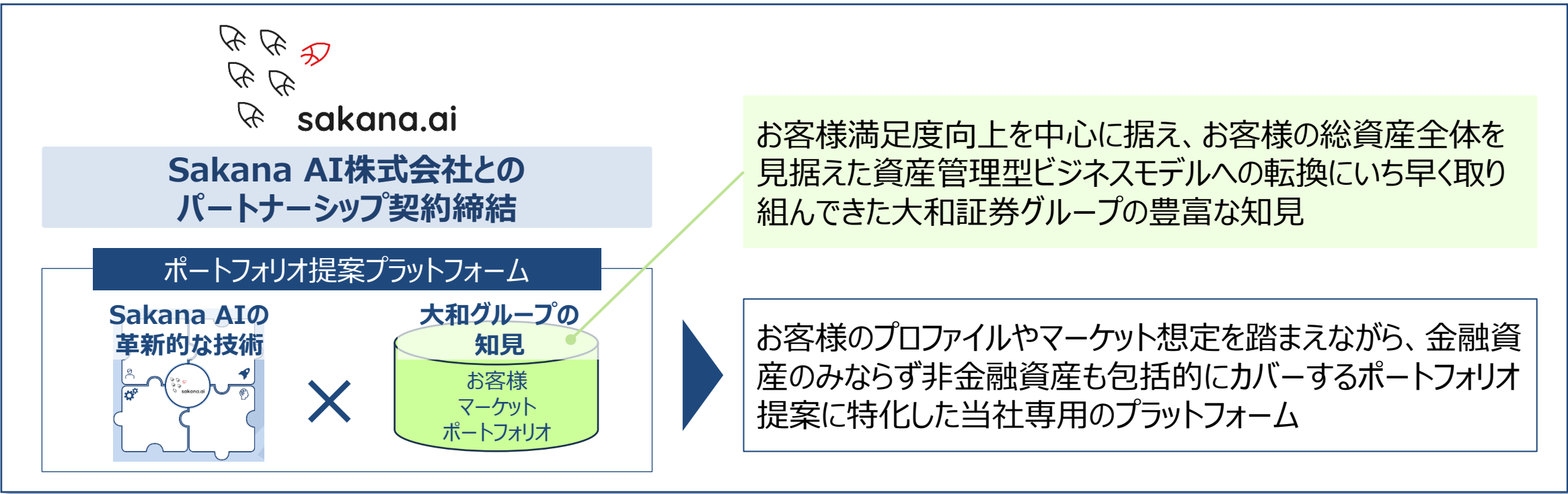
### AIエージェントの開発・導入

- 営業員向けAIエージェント作成
- 各部門でのAIエージェント作成
- AIエージェント基盤の構築

# Sakana AI社とのパートナーシップ

Sakana AI社と長期的な戦略的技術パートナーシップを構築し、デジタル・イノベーションにより非連続的な価値創出を加速

Sakana AI社の革新的なAI技術に当社グループの知見を融合し、当社専用のポートフォリオ提案プラットフォームを共同開発



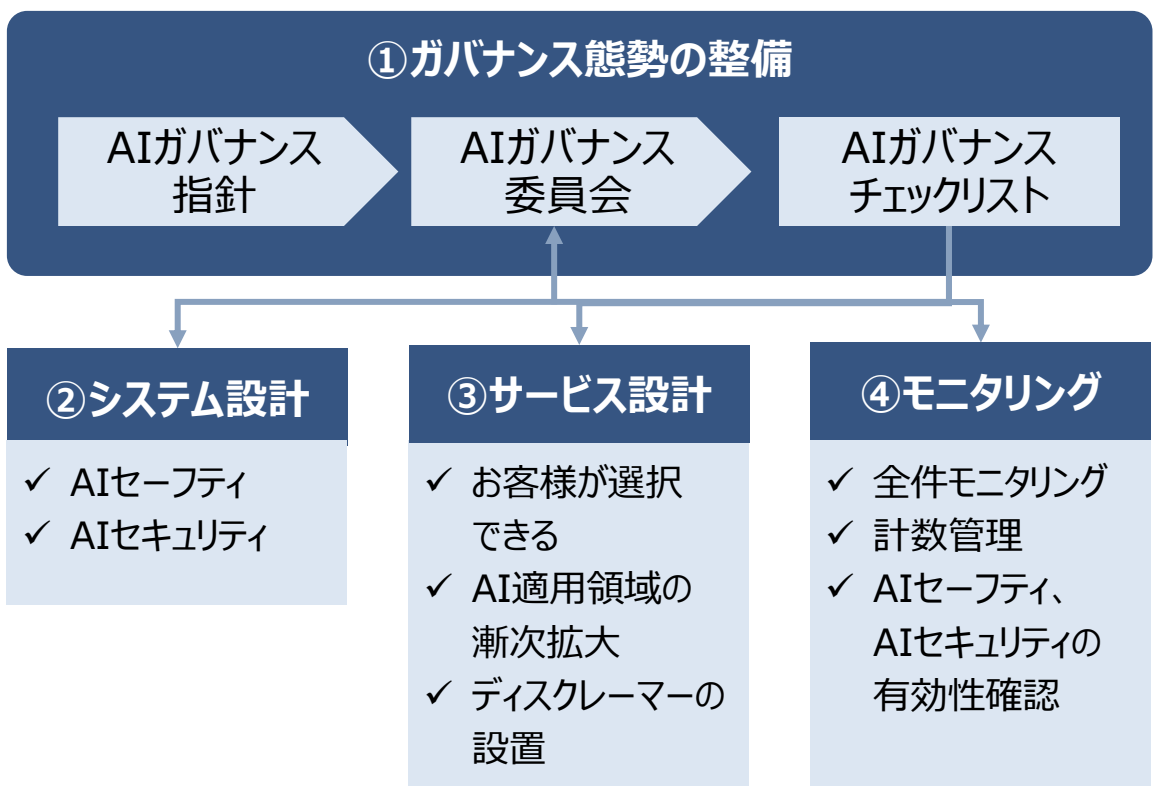
富裕層から資産形成層に至るまですべてのお客様一人ひとりに対し  
かつてないほどパーソナライズされた高品質な金融サービスの提供を目指す

# 生成AI・AIエージェントの活用に向けたガバナンス・業界横断の取組み

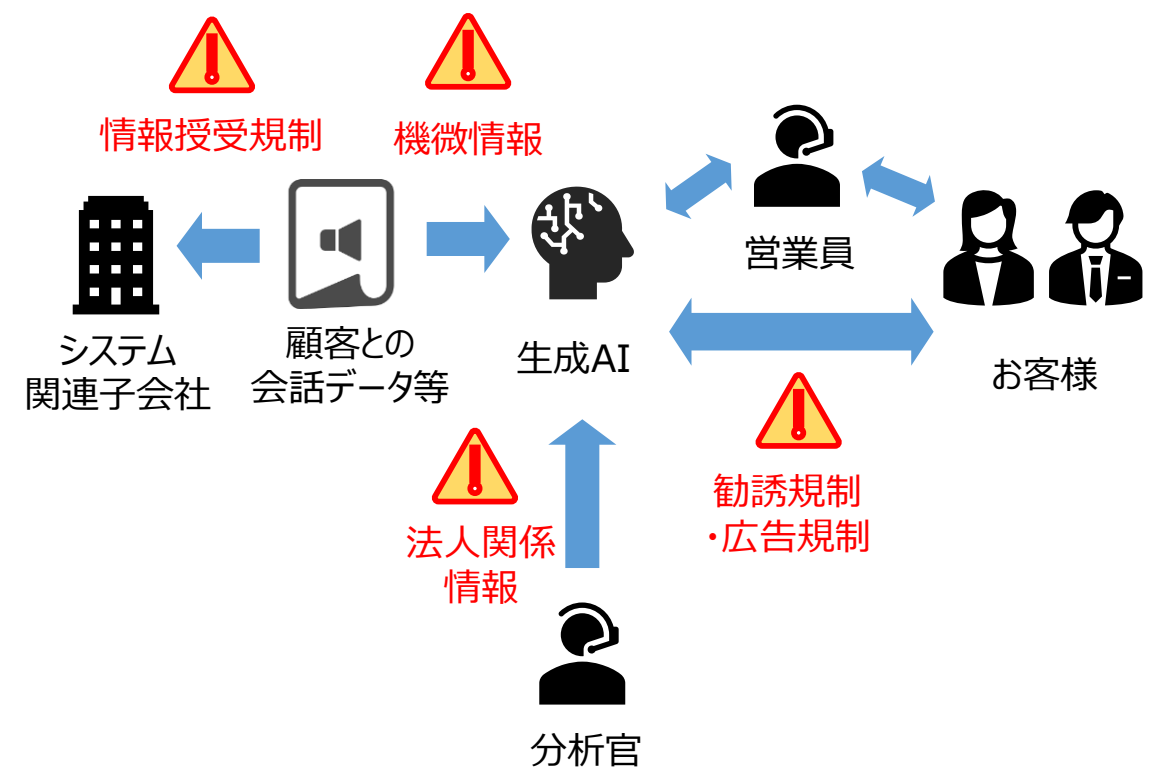
健全なAI活用を推進するため、AIガバナンス態勢を整備してきた

今後、更なるビジネス活用の広がりを想定すると、法令諸規則がデータ活用の障壁となっており、自社だけでの判断が困難  
業界横断でのルール整備（法改正・ガイドライン策定等）を目指す

## 当社のAIガバナンス態勢



## データ活用における法令諸規則面の課題

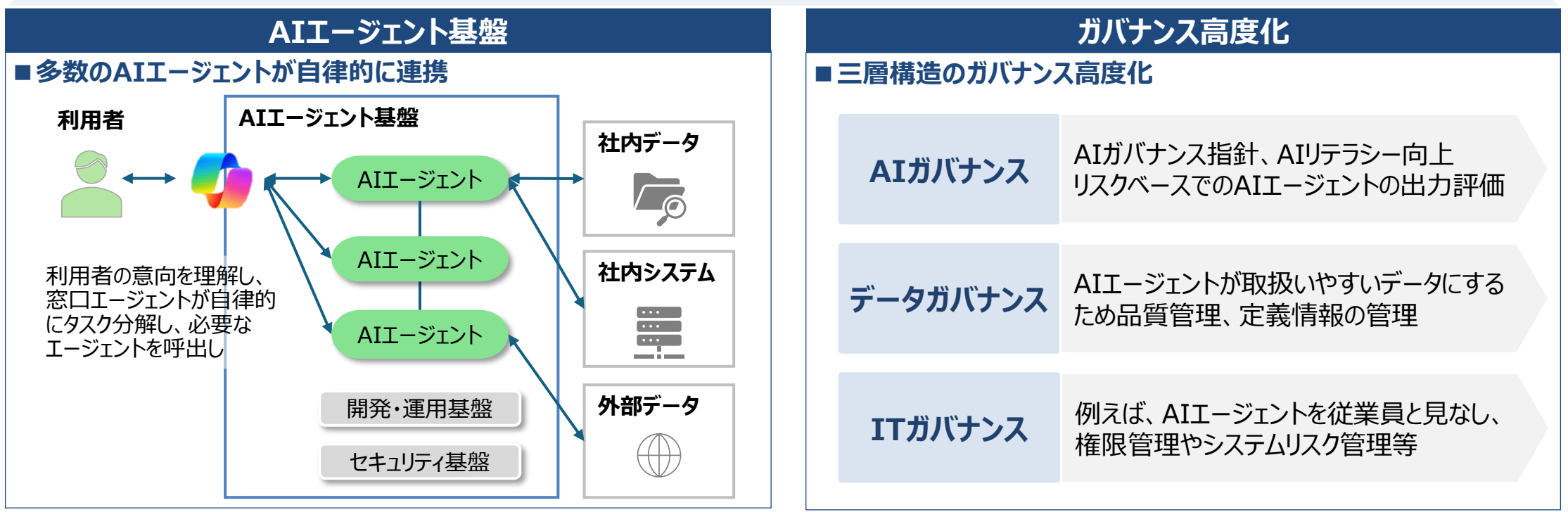


# 次世代金融サービスへのAIIエージェント実装における要所

現在提供しているさまざまなツール・機能をAIIエージェントとして連携させ、利用者に大和のケイパビリティを一貫した体験として提供  
これを加速するため、各エージェントを連動させるAIIエージェント基盤の整備と、AIIエージェント前提のガバナンス高度化が重要

利用者が安心してAIを“パートナー”として活用でき、大和の知見・ケイパビリティを一貫した体験として提供

社員と同様に、AIIエージェントにとってもスキルを存分に発揮できる環境を整備



# ブロックチェーンの取組み全体像

## 大和証券グループ横断でセキュリティトークン（ST）事業や暗号資産事業を積極的に展開

2016

2024

2025

2026

### 大和グループ横断でのブロックチェーンへの取組み

2016.4 「金融イノベーション連絡会」設置

#### セキュリティトークン（ST）領域

2019.9 日本STO協会に加盟

2020.2 デジタル社債PoC

2021.10 大阪デジタルエクスチェンジ（株）に出資

2022.2 不動産ST1号案件実施

2023.12 不動産ST6号案件実施（ODXのSTART1号案件）

2024.3 社債ST1号案件実施  
（大和証券G本社ST債）

2025.3 社債ST3号案件実施  
（トヨタウォレットST債）

2025.8 不動産ST10号案件実施  
（国内最大規模を更新）

2026.2  
ブロックチェーン×デジタルマネー  
5社協働実証実験に参画

2025.10 不動産ST11号案件実施  
（国内最大規模を更新）

#### 暗号資産領域

2018.4 Fintertech設立

2020.3 Fintertech「デジタルアセット担保ローン」開始

2023.8 Fintertech ETHを活用した「デジタルアセットステーク（消費貸借）」開始

2024.3 Penguin Securities HDとの資本業務提携

2024.10 Fintertech「デジタルアセットステーク」の貸借料円受取サービスを開始

2024.10 「国内における暗号資産ETF等の組成に向けた提言」を公表

2025.10 Fintertech「デジタルアセット担保ローン」の大和証券全支店での紹介を開始

#### NFT領域

2023.9 Fintertech

NFT管理サービス「NFT Cocoon」開発

#### DID/VC領域

2025.1 大和総研・Receipt社  
自己主権型デジタル証明書サービスの提供に  
向けた業務提携基本合意書を締結

2025.9 大和総研・Receipt社  
デジタル証明書サービス  
「Trust X」の提供を開始

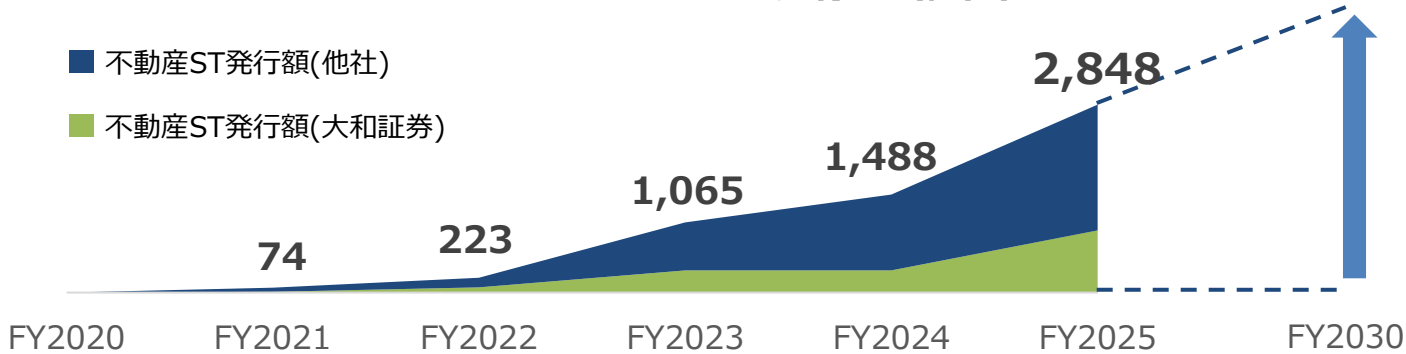
# 取組み事例① 不動産ST・社債ST

不動産STは近年急速に市場が拡大。わずか5年余りで累計発行額2,800億円規模の市場に成長

2024年3月以降、社債ST1号～4号案件を実施。発行体の資金調達手段を広げ、投資家の多様な運用ニーズ取込みを模索

## ■不動産ST

不動産ST累積発行額（億円）



## ■2025年度不動産ST大和引受案件

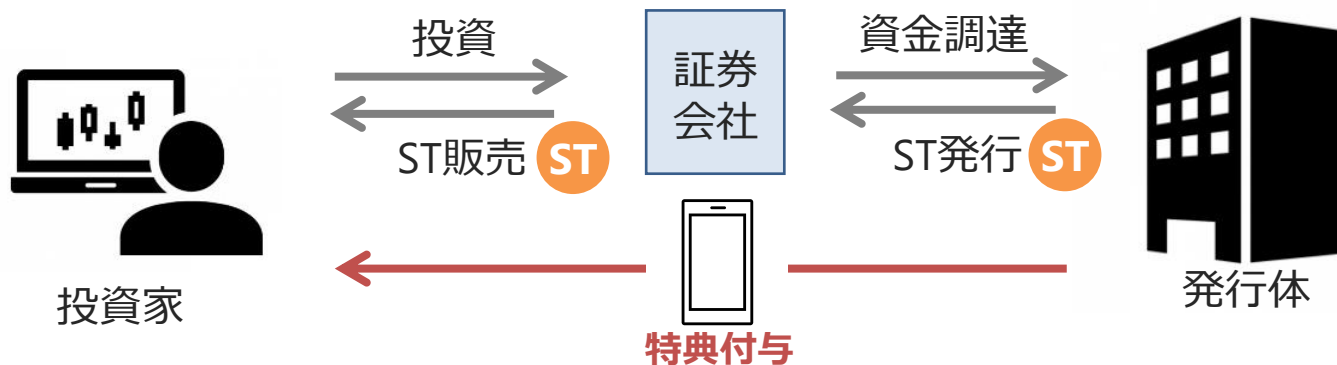
◎複数物件をST化

ケネディクス・リアルティ・トークン 住宅ポートフォリオバリューアップ戦略-	
物件	住宅
所在地	首都圏+地方都市圏
設定日	2025/06/19
総額	約68億円

◎大阪の高級ホテル

ケネディクス・リアルティ・トークン W OSAKA	
物件	ホテル
所在地	大阪府大阪市
設定日	2025/08/25
総額	約292億円

## ■社債ST（特典付与）



当社実績例 トヨタウォレットST債（2025年3月発行）

◎国内最大規模

KJRM・リアルティ・トークン 汐留シティセンター	
物件	オフィスビル
所在地	東京都港区
設定日	2025/09/30
総額	約314億円

◎オンライントレードでの取扱い開始

三井物産グループのデジタル証券 ～名古屋・プライムオフィス～	
物件	オフィスビル
所在地	愛知県名古屋市
設定日	2025/12/05
総額	約125億円

## 取組み事例② 暗号資産・NFT

## Fintertech

大和証券グループのスタートアップ子会社として、暗号資産・NFTなどのサービスを機動的に提供

## デジタルアセット金融サービス

## デジタルアセット担保ローン

- ✓ 暗号資産(ビットコイン、イーサリアム)を活用して資金の融資を受けられるサービス
- ✓ お客様が暗号資産を売却することなく日本円の調達が可能
- ✓ 大和証券の全支店で紹介開始

## デジタルアセットステーク(消費貸借)

- ✓ お客様が保有する暗号資産(イーサリアム)を貸し出すことで、貸借料を受け取ることができるサービス
- ✓ 使用予定のない、眠らせていた暗号資産を活用し、収益をあげることが可能

## NFT管理サービス



- ✓ 暗号資産・ウォレット不要で、誰でも簡単にNFTを体験することができるサービス
- ✓ 「NFT Cocoon」を活用した、NFT×クラウドファンディングによるプロジェクト支援も2023年12月に開始

大和証券グループ本社  
Daiwa Securities Group Inc.

Penguin Securities

2024年3月、暗号資産デリバティブを行うシンガポールのPenguin Securitiesと資本業務提携を開始

## ■ 資本業務提携の目的

- 暗号資産関連規制が整備され多くの関連事業者が集まる、クリプト・ハブとしてのシンガポールの魅力
- 暗号資産という新たなオルタナティブアセットへの知見の獲得・提案力の向上
- 将来的なPenguin Securities HDのサービスの国内展開も期待
- Fintertechとの連携を通じた大和エコシステムへの貢献

## ■ Penguin Securitiesについて

- シンガポールのクリプト富裕層への幅広いアクセスと多数の顧客基盤
- 暗号資産運用の知見とネットワーク：トレーディングファームや創業者との強力なコネクション
- 一気通貫のエコシステム：暗号資産の運用から決済までの包括的なサービスを提供
- シンガポールCMS（Capital Market Service）ライセンスを取得

# ブロックチェーンの社会実装に向けた業界横断の取組みについて

「決済の即時化・リスク低減」や「有価証券のトークン化による投資機会の創出、24時間365日市場の実現」を業界横断で検討

2026年2月～

ST決済の効率化

有価証券のトークン化

## ST決済におけるメガバンク発行のステーブルコインの利用検証

- 有価証券の証券会社間取引において、振替口座簿の記録とブロックチェーン上のデータを同期させる仕組みを実証
- 金融庁「FinTech 実証実験ハブ」の支援案件として採択

協働  
パートナー 野村証券・みずほフィナンシャルグループ・  
三菱UFJフィナンシャル・グループ・三井住友フィナンシャルグループ

2025年8月～

ST決済の効率化

## ST決済におけるトークン化預金DCJPYの利用検証

- STの二次流通市場における、トークン化預金DCJPYを用いたDVP決済の検証

協働  
パートナー SBI証券・SBI新生銀行・BOOSTRY・大阪デジタルエクスチェンジ・  
ディーカレットDCP

2025年4月～

ST決済の効率化

## ST決済における三井住友銀行発行のステーブルコインの利用検証

- 証券会社間のステーブルコインを活用したDVP決済の実現に向けた、業務・システム・法令対応の論点確認と解決策検討

協働  
パートナー 三井住友銀行・SBI証券・SBI R3 Japan・大阪デジタルエクスチェンジ・  
BOOSTRY・Progmat・Datachain

2025年11月～

有価証券のトークン化

## トークン化法の立法・トークン化株式の商品設計の検討

- 「トークン化証券」全般に係る法制定の検討
- 預託証券方式で“超小型化”した株をトークン化基盤で売買可能とし、株式市場の更なる活性化に繋げることを想定

協働  
パートナー 証券会社・アセットマネジメント会社・銀行等、計30社

# 最後に

貯蓄から投資への歴史的な流れの中、証券業界として、より多くのお客様の多様な資産運用ニーズにお応えすることが求められている  
AIエージェント・ブロックチェーンはこの原動力であり、パートナーとの共創や業界横断での取組みを通じて社会実装に挑む

## 取組みの意義

貯蓄から資産形成への大きな流れ（資産形成に新たに関心をお持ちのお客様は大きく拡大）  
証券業界としてお客様のニーズに十分お応えしていく必要

- AIエージェントによるお客様の利便性向上・ブロックチェーンによる新たな資産運用機会の提供

「お客様の資産価値最大化」  
の実現に向け取組みを加速

## 共創・ガバナンス

テクノロジーの進展スピードは極めて速い  
証券業界においては法令諸規則がデータ活用の障壁となっており、自社  
だけの判断が困難

- 最新の技術知見を有するリーディングカンパニー、スタートアップ、  
アカデミア等との協業は不可欠
- 官民一体・業界横断の取組みにおけるリーダーシップ

## 「AI×ブロックチェーン」への期待

あらゆる資産をトークン化して、ステーブルコインや暗号資産とともに単一  
のウォレットでシームレスに管理・運用  
AIエージェントが資産状況やお客様ひとりひとりのニーズをもとにポート  
フォリオ管理

- テクノロジーと人間の役割分担により、より多くのお客様に質の高い  
コンサルティングサービスを提供
- クロスボーダーでのあらゆる資産への投資活性化を期待